

岡山県における魚道改修の取組

簡易的な魚道改修によるアユ遡上環境の改善

【背景と目的】

堰等の河川横断構造物には魚道が設置されていないケースや魚道内の段差等により生物が移動できないケースが散見されます。こうした状況を改善するため、改修の取組が行われており、県では、技術指導や効果調査等によりその取組を支援しています。

岡山市北区御津金川の大會根堰(図1)では、魚道は設置されているものの、段差や高速流により堰の直下に稚アユが滞留していたため(図2)、地元漁協が設置した「簡易はしご型魚道(図3)」についての技術支援と設置後の効果調査を行いました。

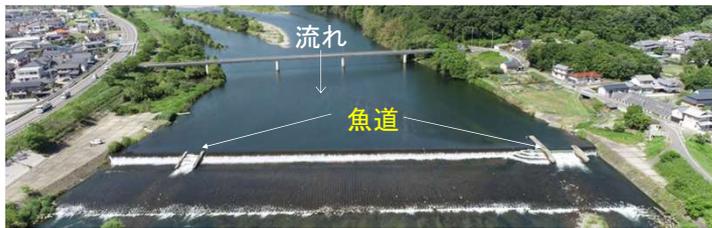
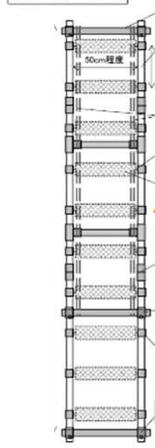


図1 大會根堰(岡山市北区御津金川)



図2 大會根堰の直下に滞留する稚アユ

簡易はしご型魚道



(株)西日本科学技術研究所 2024)



図3 簡易はしご型魚道 (R5.5設置)

【成果の内容】

簡易魚道の上流部にタイムラプスカメラを設置しアユの遡上状況を確認したところ、最大496尾/日の遡上が確認されました。



図4 簡易はしご型魚道設置個所の上流部で確認されたアユの尾数の推移 (R5)

表1 大會根堰の上流区間と下流区間における天然アユの比率

年	区間		差 (a-b)
	上流区間 (a)	下流区間 (b)	
R1	29%	53%	-24%
R2	49%	65%	-16%
R3	56%	36%	20%
R4	52%	48%	4%
R5	55%	76%	-21%
R6	32%	25%	7%

※R3から取組を開始

側線上方横列鱗数により天然もしくは放流アユの判別を行い堰の上下流で天然アユの出現状況を比較したところ、上流区間と下流区間の天然アユの出現比率の差が小さくなったことから(表1)、簡易魚道によりアユの滞留が緩和された可能性が示唆されました。

水産研究所ではこのような改修事例を蓄積しながら、今後も技術指導や効果調査を行い積極的に取組を支援してまいります。

お問い合わせ先

岡山県農林水産総合センター 水産研究所
瀬戸内市牛窓町鹿忍6641-6 TEL. 0869-34-3074